

平成 29 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア II 講座・准教授
氏名 Name	宮脇聡史
専門分野 Academic Field	フィリピン地域研究、宗教社会学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	フィリピンのカトリック教会、政治、性・家族・生殖
<p>中心となる教会と政治社会との関係に関する研究については、主に引き続き公文書、公式ホームページのニュース、主要紙の教会関連記事、学会記事等のフォローに努めることができた。こうした作業からこれまでの様々なテーマが生まれてきているが、特に今年度は「憑依」をめぐる教会の対応とこれをめぐる報道について学会発表を行った。これに基づく論考を一度仕上げたものの学会誌への掲載は見送られたため、今後修正を加えて発表の場を求めることとする。</p> <p>また、今年度も東南アジアの LGBT をめぐる政治に関する科研の研究に参加し、この機会に東南アジア諸国における現状や、性的少数者が政治問題化する際のいくつかの特徴についての理解を深め、またそうした中で、性と生殖に関するより広い問題圏についての教会の動きの推移についてのレビューを行い、学会発表することもできた。</p> <p>今年度は大学での授業では家族社会学、大学院ではグローバルな近代化の文脈における東南アジア・フィリピンに関する演習を行うことで、研究者自身もこれに照らしてこれまでの研究を振り返り、これからの研究の方向性を探る良い機会となった。12 年前の博士論文までの研究が主に中長期的な政教関係の構造を解明しようとするものであったのに対し、近年手探りで行ってきた調査研究が、むしろ流動化するフィリピン、東南アジア、アジア、世界の社会的変化の中における教会の対応をめぐるものであったことが見えてきた。そしてそれに基づき、流動の中の教会という観点の中に、これまでの自身の研究、科研の性的少数者や性と生殖をめぐる研究、そして今年度後半から着手し始めているショッピングモールや信徒団体の動向の調査など小教区教会や修道会の活動からややみ出したものに関する研究を位置づけなおすこともできた。</p>	